

ニコニコホーム 令和2年度事業計画

事業方針	親の高齢化、本人をとりまく生活環境の変化に応じて、住環境整備、食生活・日常的な支援等、長期的な視点を持ち、体制を整えながら、入居者一人一人の生活の形を大切にしていく。またちやれんじホームの利用者等を通じて、今後取り組むべき課題を把握していく。
利用定員	29名（光正寺3名 森下北4名、森下南4名、森下西Ⅰ5名、森下西Ⅱ5名、松が根台4名 ちやれんじホーム鳴海4名）
職員配置	管理者 1名（ショートステイどんたく管理者と兼務） サービス管理責任者 2名（※2名世話人と兼務） 世話人 常勤11名（7名専任/2名 サービス管理責任者と兼務/2名他事業所兼務） 生活支援員 嘱託：2名 非常勤：24名（専任）
業務内容	1. グループホームセンターの運営 管理部：管理者・サービス管理責任者・ちやれんじコーディネーター 事業所全体の把握・職員配置・他機関との連携及び調整・保護者会との連携・自立支援協議会への参加・個別支援計画の作成、実施、モニタリング 2. 各住居での支援 世話人：各共同生活住居の管理・関係機関との連携・共同生活住居の設備管理・個別援助計画案の作成、実施、モニタリング案作成・事例検討 生活支援員・各住居：入居者の日常生活上必要な支援の提供と生活相談・支援・担当への的確な報告の実施 3. 名古屋市知的障害者地域生活体験訓練事業(ちやれんじホーム野並)の受託 4. 単身生活移行者の支援
重点計画	1. 入居者の高齢化への対応 (1) 個別支援計画の見直し、再アセスメントを実施。 (2) 住居の点検 (3) 医療従事者、ケアマネージャーなど他機関との連携。 (4) 権利擁護基本ルールの再確認。 2. 事業所内の情報共有の徹底 (1) グループウェア、ミーティングを活用した指示系統の確認 (2) 管理者、サービス提供責任者の役割の確認 (3) 報連相の再徹底。 3. 安全なサービス提供の実施 (1) 危険を予知した取り組みの実施 (2) 緊急時の支援体制の検討
細目整備	<苦情解決/リスクマネジメント> ・結果的に起こりうる事故を想定した取り組み ・入居者、利用者からの丁寧な要求の吸い上げ <防災・防犯・環境整備> ・防災、防犯設備の機能についての理解 ・老朽化ホームに対して必要な箇所の速やかな修繕 ・ホーム森下西ⅠⅡの避難の仕組みを徹底 ・震災時に起こり得る地域の状況を想定した取り組み。 <ミーティング> ・それぞれの強みを意識できる内容を検討。 <研修> ・事業所内での研修を実施 <その他> ・学区盆踊り・秋まつりへの参加の方法を再検討 ・地域の行事、サロン・防災訓練等に参加 ・給食提供の仕組みを確立。 ・入居費用の在り方を確認。

